

九州大学出版会

日本言語学会第163回大会

学会特価販売のご案内

全品 20%OFF

特価適用期間：2021年12月24日まで

■ 書籍のカタログはこちら

<https://kup.or.jp/booklist/hu/language/>

言語学分野のサイトへリンクしています。他分野の書籍も特価対象となります。

■ ご注文は下記メールアドレスへ

sales@kup.or.jp

メールの件名を「日本言語学会第163回大会特価注文」とし、本文に

1. お名前、2. 送付先ご住所、3. お電話番号、4. 書名・冊数、5. 請求書宛名（必要書類）
をご記入のうえ、お申し込みください。

* お支払い方法：郵便振替用紙を同封いたします。公費によるお買い上げの場合はお知らせください。

* 送料：合計金額5,000円以上お買い上げの場合は、国内送料を小会にて負担いたします。
それ以外の場合は発送手数料として一律500円を頂戴しております。海外への送品
につきましては、お買い上げ金額にかかわらず送料の実費を申し受けます。

形と形が出合うとき

現代韓国語の形態音韻論的研究

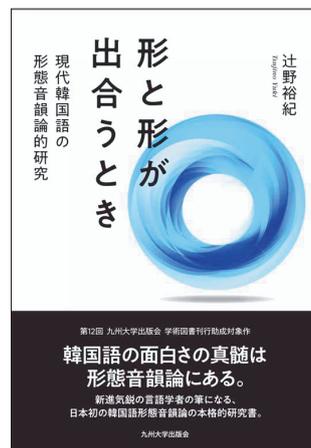
近刊・12月中旬刊行

辻野裕紀

A5判 上製 320頁 定価 7,920円 → 学会特価6,300円(税込)

本書は、韓国語の形態音韻論的現象を研究の俎上に載せ、その態様を描出しようとするものである。音素、音節、形態素、単語——形と形——がおのの接合すると、いかなる現象が生起し、その背後にはいかなる原理が伏流しているのか。これまで存在自体は知られていても、十分には考検されてこなかった現象群をつぶさに剖析することによって、韓国語の興味深い様々な言語事実を精緻に焙り出すことが本書の目的である。

何故に形態音韻論を韓国語において問うのか——その解は分明だ。日本列島周辺の言語を見渡してみても、現代韓国語は形態音韻論的な変容が相対的に極めて激しい言語だからである。韓国語の面白さの真髓は形態音韻論に在るとさえ言える。しかしながら、これまで日本語で読める韓国語形態音韻論の本格的な研究書はなかった。新進気鋭の言語学者が、韓国語の妙味に鋭く迫る。



韓国語の面白さの真髓は 形態音韻論にある

目次

第I部 アクセント論:大邱方言を対象に

- 第1章 大邱方言のアクセント体系
- 第2章 大邱方言のアクセント型の生起頻度
- 第3章 大邱方言のアクセントと分節音の相関関係
- 第4章 世代差について
- 第5章 まとめ

第II部 〈n挿入〉論

- 第1章 〈n挿入〉とは何か
- 第2章 先行研究の概観と考察
- 第3章 〈n挿入〉が起きる形態論的条件
- 第4章 〈n挿入〉はなぜ起きるか:発生論と機能論
- 第5章 〈n挿入〉の実態調査:若年層ソウル方言話者を対象に
- 第6章 まとめ

第III部 〈流音後濃音化〉小論

- 第1章 〈流音後濃音化〉とは何か
- 第2章 先行研究と研究方法
- 第3章 分析と考察
- 第4章 まとめ

第IV部 混成語形成の形態論

- 第1章 〈混成語形成〉とは何か
- 第2章 先行研究
- 第3章 分析と考察
- 第4章 まとめ

著者

辻野裕紀(つじの ゆうき)

愛知県名古屋市生まれ。九州大学大学院言語文化研究院准教授。専門は言語学、韓国語学。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。

主要論文:

「韓国語大邱方言における名詞のアクセント体系」
「言語形式の自立性と音韻現象:現代朝鮮語の〈n挿入〉を対象として」
「言語教育に伏流する原理論的問題:功利性を越えて」
「現代朝鮮語の形態音韻論的現象に見られる共時的変異について」